

卒業研究		演習	教授 柳澤 修	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

スポーツパフォーマンスの向上ならびにスポーツ障害の予防について

2. ゼミのねらい・概要

主にスポーツ医科学のアプローチを用いて、競技パフォーマンス向上や障害予防に寄与する要因を探る。得られたデータを定量的に分析し、それを論理的に考察して、卒業成果物としてまとめられるようにする。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. 前期ガイダンス	1. 後期ガイダンス
2. 卒業成果物のテーマ決めについて	2. 研究データのまとめ方（図について）
3. 学術論文の収集方法について	3. 研究データのまとめ方（表について）
4. 学術論文のまとめ方について	4. 研究データのまとめ方（統計分析について）
5. 研究の進め方について	5. 卒業成果物の作成（タイトルのつけ方）
6. 研究テーマの発表（第1グループ）	6. 卒業成果物の作成（緒言の書き方）
7. 研究テーマの発表（第2グループ）	7. 卒業成果物の作成（方法の書き方）
8. 研究テーマの発表（第3グループ）	8. 卒業成果物の作成（結果の書き方）
9. 研究テーマの発表（第4グループ）	9. 卒業成果物の作成（考察の書き方）
10. 研究テーマに関する総括	10. 卒業成果物の作成（参考文献の記載）
11. 研究の進捗状況に関する発表（第1グループ）	11. 卒業成果物の進捗発表（第1グループ）
12. 研究の進捗状況に関する発表（第2グループ）	12. 卒業成果物の進捗発表（第2グループ）
13. 研究の進捗状況に関する発表（第3グループ）	13. 卒業成果物の進捗発表（第3グループ）
14. 研究の進捗状況に関する発表（第4グループ）	14. 卒業成果物の進捗発表（第4グループ）
15. 前期のまとめ	15. 後期のまとめ

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

プレゼンテーションの準備として、文献内容の整理やパワーポイント資料の作成などに5時間程度が必要であろう。復習としては、各回で扱ったテーマのポイントを整理し、各自の卒業研究の作成に活かせるようにしてほしい（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業中のプレゼンテーションや提出物に対しては個別にコメントを行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

スポーツパフォーマンスの向上やスポーツ障害の予防に寄与できる卒業成果物を仕上げる。

7. 成績評価の方法・基準

受講態度（50%）ならびに提出物・プレゼンテーションの内容（50%）で総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

ゼミ内容に関係する専門テキストや学術論文を授業中に適宜紹介・配布する。

9. 受講上の留意事項

- ・学術的な問いを積極的に解明しようとする姿勢を求める。
- ・受講マナー（授業中の私語やスマートフォン使用，他者への迷惑行為などは厳禁）については十分注意すること。
- ・グループで実施する課題についてはお互いに協力して取り組むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は，国内トップアスリートを対象とした研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。